令和７年度使用中学校用教科用図書
調査資料

第１１採択地区調査専門員

令和６年７月

目　次

国　語　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

書　写　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

社　会（地理的分野）　・・・・・・・・・・・　5

社　会（歴史的分野）　・・・・・・・・・・・　7

社　会（公民的分野）　・・・・・・・・・・・１０

地　図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

数　学　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

理　科　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

音　楽（一般）・・・・・・・・・・・・・・・　１８

音　楽（器楽合奏）・・・・・・・・・・・・・　１９

美　術　・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

保健体育　・・・・・・・・・・・・・・・・・２２

技術・家庭（技術分野）　・・・・・・・・・・２４

技術・家庭（家庭分野）　・・・・・・・・・・２６

英　語　・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７

道　徳　・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９

令和６年度　第１１採択地区　参考資料

令和７年度使用　中学校国語科（国語）　調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	＜思考力・判断力・表現力を高めるための具体的な手立てについて＞ ○　「てびき」にある一連の流れ【見通す・つかむ・読み深める・考えを持つ・振り返る】に対し、「言葉の力」が位置付けられ学習ポイントが押さえられている。 △　単元の目標が各教材の末尾に記載されていて、目標を確認するためにページをまたぐので、思考が途切れやすくなる恐れがある。 ＜ユニバーサルデザインへの配慮について＞ ○　教材の本文中に出てくる新出漢字だけではなく、読み間違いやすい既習の漢字等にも振り仮名が付けられている。 △ 言語事項において、キャラクターの会話で成り立ち興味を引く形となっているが、文字数が増えてポイントをつかみにくくなっている。 ＜その他＞ ・　デジタル資料が充実しており、作者の言葉（著者インタビュー）が文章ごとにあり、主題を捉えやすくなっている。
三省堂	＜思考力・判断力・表現力を高めるための具体的な手立てについて＞ ○　「思考の方法」を補助するチャート図が各教材で活用され、「思考の方法」と「自分の考えを深める」が関連しているので自分の考えを深めることができる。 △　「話す・聞く」の内容が、「グループ」から「個人」の流れになっており、自分の考えを持てるようになってから相手に伝える流れの方が取り組みやすい。 ＜ユニバーサルデザインへの配慮について＞ ○　文法事項や言葉の学びの部分において、例文の字体を変えてある等、ポイントを一目見て判断しやすくなっている。 △　様々な色を使うことで見分けやすく興味を引く面もあるが、視覚的刺激が他の教科書に比べやや強く、授業中の集中力低下を招く可能性がある。 ＜その他＞ ・　文章の読み方に関する解説動画が多く、文章を読み解く一助となっている。デジタルコンテンツが見やすく、文字の大きさも程よい。
教育出版	＜思考力・判断力・表現力を高めるための具体的な手立てについて＞ ○　「学びナビ」が教材文の前に設定されており、既習事項・基礎知識の確認や学習活動のポイントがつかみやすく、学びの軸がぶれずに学習を進められる。 △　教材文後にある「みちしるべ」での「読み深めよう」と「自分の考えを伝え合おう」のつながりが薄く、学習してきたことに関連して考えづらい面がある。 ＜ユニバーサルデザインへの配慮について＞ ○　「５、１０」と行数を示す数字の他に、１行ごとに「・」が示してあり、文章中の行の確認がしやすくなっている。 △　脚注欄に取り上げられる語句の出現行数が示されず、本文での確認に時間がかかってしまう可能性がある。 ＜その他＞ ・　デジタル資料がやや少なめで、ＩＣＴを適宜活用していく際に、学びの幅を広げにくい面がある。
光村図書	＜思考力・判断力・表現力を高めるための具体的な手立てについて＞ ○　「学びの扉」で、学びの見通しが記されており、学習の見通しがもちやすく、

	学習活動にタイトルがついているので学習のポイントが押さえやすくなっている。 ○　「学びのカギ」で、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の基本的な観点がまとめられており、身に付けたい資質・能力がわかりやすい。 ＜ユニバーサルデザインへの配慮について＞ ○　説明的文章や文学的文章の分野ごとのつながりをインデックスのような形で示し、理解の段階や文章（作品）ごとのつながりを振り返ることができる。 ○　ＩＣＴ活用のヒントにおいて、二次元コードについても「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域ごとに色分けし整理されており見やすい。 ＜その他＞ ・　デジタル資料のバリエーションが豊富で、それぞれのＱＲコードに簡単な説明があり、１回１回開かなくても内容が捉えやすくなっている。

令和６年度　第１１採択地区　参考資料

令和７年度使用　中学校国語科（書写）　調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	＜主体的な学びを支える構成・資料について＞ ○　「書写のかぎ」で押さえるべきポイントがわかり、大切な言葉を太字にすることで印象に残りやすくしている。 △　教科書のワークシートとしての活用が少なく、文字を書く練習を多く行うためには工夫が必要である。 ＜書写における基礎的・基本的な知識及び技能について＞ ○　「基本の点画の書き方」において、始筆や運筆を「とん・すう・すっ」等と擬態語で示されており感覚をつかみやすい。 △　毛筆で学習した文字自体の硬筆への活用がなく、すぐに発展課題にしてしまっているため、字形についての理解が不十分になる可能性がある。 ＜その他＞ ・　各学年の終わりごとに「書写テスト」が設定されており、知識の確認等の振り返りがしやすくなっている。
三省堂	＜主体的な学びを支える構成・資料について＞ ○　見やすい二次元コード一覧表があることで、自分の課題に合ったデジタルコンテンツを探しやすくなっている。 △　毛筆の授業のページと硬筆に生かす部分とが離れてしまっているため、毛筆で学んだことを硬筆に生かしづらい。 ＜書写における基礎的・基本的な知識及び技能について＞ ○　デジタルコンテンツの種類が明確で使うべき資料がわかりやすく、解説動画も充実しているので、実際に運筆を見ながら課題に取り組むことができる。 △　毛筆において、朱墨を使って穂先の位置を分かるようにはしているが、矢印等を使って示していないので、教科書だけでは筆の動きが理解しづらい。 ＜その他＞ ・　書き込む部分が多く、教科書１冊で練習しながら内容を確認できる構成となっている。
教育出版	＜主体的な学びを支える構成・資料について＞ ○　目標の確認から学習の「振り返り」まで学習の流れがしっかりしており、○・△の「振り返り」で達成度を確認しながら取り組みやすい構成となっている。 △　総体的に１ページ毎の情報量が多く、生徒によっては一見したときに抵抗を感じてしまうと思われる。 ＜書写における基礎的・基本的な知識及び技能について＞ ○　毛筆指導において、硬筆での試し書きとまとめ書きが設定してあり、毛筆を硬筆へと生かせる流れとなっている。 ○　毛筆において、手本に中心線を付していたり、中心線がひいていなくても黒丸を繋げば中心が捉えたりできるようになっている。 ＜その他＞ ・　教科書のサイズがＡ判でも、Ｂ判でもなく扱いづらい。机上にタブレット等とともに使用するときに場所を取り過ぎてしまう。

光村図書	＜主体的な学びを支える構成・資料について＞ ○　取り外しのできる別冊の「書写ブック」が付属しており、練習できるページが多く設けられ、自主的な学習や補充的な学習を行うことができる。 ○　各ページにあるＱＲコードに、「動画」「アニメーション」「他の文字にチャレンジ」等、コードが明確になっていて取り組みやすい。 ＜書写における基礎的・基本的な知識及び技能について＞ ○　毛筆において、朱墨を使って穂先の動きを示すとともに、筆脈を矢印で示すことで視覚化されていて分かりやすい。 ○　行書の導入で、楷書と並べて提示しており、見比べることで行書の特徴をとらえやすくなっている。 ＜その他＞ ・　人名用漢字表が画数で記載されていていることで、活用的で書字に生かしやすくなっている。

令和７年度使用　中学校社会科（地理）　調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	＜主体的・対話的で深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ ○各地域の探求課題につながる大きな写真を提示し、地域の概観につながる写真やグラフを豊富に掲載している。 ○個人活動で自分の考えをまとめ、グループ活動で対話的な活動を行うことで、他者の意見を取り入れ、深い学びにつなげるための場面設定をしている。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ ○導入資料から課題、活動と学習の流れがまとまっており、資料活用の技能を活用する活動コーナーでは、見方・考え方を働かせる視点を示している。 ○本文中に学習のヒントを示すことで、見方や考え方を働かせる項目が明確に示されており、自分の言葉でまとめられる工夫がなされている。 ＜その他＞ ・ＱＲコードを随所に掲載し、デジタルでの学びも行えるような、多彩なコンテンツを用意しており、生徒教師が使いやすい工夫がされている。
教育出版	＜主体的・対話的で深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ ○地図、グラフ、統計資料などが適切な量で提示しており、本文と併せて活用することで、主体的・対話的な学習に取り組むことができる。 ○興味・関心を引き付ける資料があり、主体的・対話的な学習につながる工夫がされている。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ ○１時間の学習の最後に「表現」のコーナーを設定し、振り返りの学習として自分の言葉でまとめる活動がある。 ○単元を学ぶにあたり、導入の部分で課題を明らかにしており、関連する資料が提示されている。 ＜その他＞ ・単元の終わりに、学習したことを振り返るページに、評価の観点が示す工夫がされている。ＱＲコードの数が少ない。
帝国書院	＜主体的・対話的で深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ ○学習の流れをつかみやすく、主体的・対話的な学びについて取り組みやすい工夫がされている。 △写真資料に比べて、統計資料が少なく、データに基づく分析が行えるような工夫が必要である。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ ○１時間の学習の最後に「説明しよう」というコーナーを設定しており、振り返りの学習として自分の言葉でまとめる活動ができる工夫がされている。 △各節の最後のまとめの部分において、多面的な学びに向かえるような構成にする工夫が必要である。 ＜その他＞ ・地図帳を活用した学習が円滑に行うことができるように「地図帳活用」の記載がある。

日本文教出版	＜主体的・対話的で深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ ○各小単元にＱＲコードがあり、読み取ることによって、その日に学んだ内容が小テスト形式で自ら確認できる工夫がされている。 △主体的・対話的な学びに向かうように、興味関心を引くための資料の掲示の工夫が必要である。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ ○各章の最後に、考え方の視点を与え、対話的に深める学びに導く工夫がされている。 ○学習課題が小単元ごとに明示してあり、さらに詳細に学べる見方、考え方が明示しているなど工夫が見られる。 ＜その他＞ ・導入部に小学校で学習した内容事項や学習の見通しを示すなどの工夫がされている。単元の終わりに、基礎・基本用語をまとめるような工夫がされている。

令和６年度　第１１採択地区　参考資料

令和７年度使用　中学校社会科（歴史分野）　調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	＜主体的・対話的で深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ ○資料が学習課題の解決につながるように精選されており、本文の記述との関連性もあって、主体的に学習に取り組みやすい。 ○「みんなでチャレンジ」など、生徒が自主的に考えを深めることができるコーナーが適切に設けられている。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ ○各章の章末には、見方・考え方を働かせ、探求課題の解決をできるよう、ステップチャートやＸチャートなど多彩な思考ツールでまとめる工夫がされている。 ○「チェック＆トライ」では、自分の言葉で学習活動の説明や要約ができるような工夫がされている。 ＜その他＞ ・紙面はＡＢ判で読みやすいＵＤフォントを使用し、ページ数も適切である。ＱＲコードも多数掲載してあり、学びを支援している。
教育出版	＜主体的・対話的な深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ ○歴史的な資料や写真とともに、説明が加えられた地図が豊富で、当時の様子や関係国のつながりが理解しやすい。 ○「歴史の技」では、ＩＣＴを活用した資料の提示に力を入れており、資料の提示方法や表現も豊富である。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ ○学習課題に対応した「確認」と「表現」で、基本の定着と学習内容を自分の言葉で説明することで、学習を振り返ることができるようになっている。 △学習のまとめと表現が、どの章末も同じ表現でまとめる方法のため、様々な表現でまとめる方法を章ごとに活用するなどの工夫が必要である。 ＜その他＞ ・紙面はＡＢ判で読みやすいＵＤフォントを使用し、ページ数も適切である。ＱＲコードを読み取り、学習に活用できるが、コンテンツが少ない。
帝国書院	＜主体的・対話的な深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ ○「アクティブ歴史」を設け、テーマを考察するのに適切な資料や対立する意見を提示し、対話を通して深い学びを実現できるようにしている。 △文化の単元では、資料が大きく掲示され、種類も豊富であるが、単元の内容によっては取り上げる資料の情報量に差が大きい。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ ○１時間の学習の最後に「説明しよう」のコーナーを設定し、振り返りの学習として自分の言葉でまとめる活動がある。 △章末で「タイムトラベル」を活用した振り返りを、自分の言葉でまとめさせているが、時代の特色の考察のまとめが画一的で工夫が必要である。 ＜その他＞ ・地図とイラストによる「世界とのつながりを考えよう地図編」を設置しており、日本の歴史を世界の中に位置づけて見ることができる工夫がされている。

山川出版	＜主体的・対話的で深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ 〇世界の歴史や現在の国際情勢との関連を意識した記述と、多面的・多角的に考察する力の育成につながる資料提示がなされている。 △本文の豊富な記述と比べると資料の種類が少なく、かつ難易度が高いため、主体的・対話的で深い学びにつながる授業の展開に結びつきにくい。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ 〇高等学校の歴史学習との接続を意識した、因果関係を重視した詳しい説明による記述がなされている。 〇１時間の学習の最後に「ステップアップ」のコーナーを設定し、振り返りの学習として自分の言葉でまとめる活動がある。 ＜その他＞ ・情報量が多く、多面的・多角的に学ぶことができるが、資料から判断し考察していくのに、精査が必要である。
日本文教出版	＜主体的・対話的で深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ 〇写真や地図、図表などの種類が豊富で、特に文化についての写真が見やすく、生徒が理解しやすいような説明が加えられているなどの工夫がされている。 〇年表と世界地図を読み取り、時代を時間軸で概観したり、日本と世界とのつながりを空間軸で確認できる記述があるなどの工夫がされている。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ 〇学習課題ごとに、手がかりになる見方・考え方が示され、課題を解決するための取り組みが行いやすく、最後に「確認」「表現」で振り返ることができる。 〇編や章のまとめの部分では、学習した時代と一つ前の時代を比較して、変化をまとめられるような課題が設定され、歩みを理解しやすい工夫がされている。 ＜その他＞ ・「歴史を楽しく、深く学び、未来を考えるコラム・特設ページ」が設定されており、未来のためのヒントや様々な視点で歴史を捉える工夫がされている。
自由社	＜主体的・対話的で深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ 〇単元によっては「もっと知りたい」というコラムを設け、学習課題についてさらに深い学びにつながるような記述と資料を提示している。 〇地図やグラフ、文献資料のほか、補足の解説が豊富であり、歴史的事象をより多面的・多角的に捉えることができる。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ 〇各章の章末に時代の特徴を考えるページを設け、歴史用語、ミニ辞典やひとこと作文の課題で、学習内容を自分の言葉でまとめられるようにしている。 △章の導入のページで、単元を貫く課題が提示されておらず、学習の見通しがわかりにくい。章を大観した学習の構成の工夫が必要である。 ＜その他＞ ・コラム欄外の解説がとても充実しており、理解を深めやすくなっている。ＩＣＴを活用するためのＱＲコードがないので、工夫が必要である。

育鵬社	＜主体的・対話的で深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ 〇伝統文化の理解につながる文化遺産や人物の資料が豊富で、歴史の大きな流れをつかむための世界史の扱いを充実させて、主体的な学びを促している。 〇写真や地図、グラフなどの資料が豊富であり、解説なども資料の内容を補完するものとして、効果的になるような工夫がされている。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ 〇「つかむ、調べる、まとめる・表現する」という流れで構成されており、見方・考え方を働かせて学習を深めるコーナーを設けている。 △章の初めに提示されている課題と、章末の学習のまとめとのつながりが見えにくく、自分の言葉でまとめる学習の構成に工夫が必要である。 ＜その他＞ ・紙面はＡＢ判で読みやすいＵＤフォントを使用し、ページ数も適切であるが、ＱＲコードでＩＣＴを活用する場面が少ない。
学び舎	＜主体的・対話的で深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ 〇単元ごとに導入資料が大きくレイアウトされ、興味・関心を持って、学習に取り組みやすくなっている。 △章の導入で、世界地図とその時代のテーマに基づく様子を表す資料を提示しており、時代を大観しやすいが、課題が明示されておらず、学びが深まりにくい。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ 〇章のまとめでは、活動を通して思考力を深める課題に取り組んだり、各時代の特色を自分の言葉で表現できるようにしている。 △課題が時代区分ごとにしか記載されてなく、各章を通して学習の流れを意識しにくく、自分の言葉でまとめる学習につながりにくいので、工夫が必要である。 ＜その他＞ ・情報量が多く、多面的・多角的に学ぶことができるが、資料から判断、考察していくことが難しく、工夫が必要である。
令和書籍	＜主体的・対話的で深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ 〇全体的に資料の数も豊富である。また、特色のある資料が掲示されている。各資料に対する説明もていねいに記載されている。 △主体的・対話的で深い学びに向かうような課題の提示がわかりにくく、工夫が必要である。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ △小見出しごとに課題が提示されているが、見方・考え方をどのように働かせるかがわかりづらく、流れがイメージしにくいので工夫が必要である。 △章ごとの課題が政治・文化など４つの観点で提示され、まとめで取り組むようになっているが、自分の言葉でまとめる学習の構成にする工夫が必要である。 ＜その他＞ ・Ａ５版で縦書きで、小見出しは「イロハ順」になっている。ページは多めで、文字も小さく、扱いにくい印象であり工夫が必要である。

令和７年度使用　中学校社会科（公民）　調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	＜主体的・対話的で深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ 〇学習内容への興味・関心を高める写真やグラフ、イラストなどの多彩な資料が提示されており、主体的な学びにつながりやすい。 〇導入の学習で、探求課題と探求のステップからまとめまでの流れが示されており、生徒が自主的に考えを深めることができるコーナーが設けられている。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ 〇探求のステップに段階的に取り組み、思考ツールなどを用いて自分の考え方を整理することで、単元を貫く探求課題の解決につながるように構成されている。 〇本文の資料、ＱＲコードが同じ位置に配置され、学習に取り組みやすい紙面構成になっており、トライで自分の言葉でまとめられるような工夫がされている。 ＜その他＞ ・他者と比較して、ページ数は少なめになっている。また、ＱＲコードを多数掲載しており、主体的な学びを支援している。
教育出版	＜主体的・対話的で深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ 〇写真やグラフ、イラストがわかりやすく提示されていて、バリエーションが豊富であるため、様々な視点から課題を探求することができる。 〇本時の学習内容を深化させた発展的な課題を「ＴＲＹ！」として設定し、思考力・判断力・表現力の育成を効果的に行い、深い学びにつなげようとしている。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ 〇各章の導入ページで見方・考え方を紹介し、それを用いて、振り返りとまとめができる工夫がされている。 〇各章の終わりに、章全体を貫く問いに対する自分の考えをまとめる課題があり、さらに学習内容を活かした発展的な課題が設定されている。 ＜その他＞ ・紙面はＡＢ判で読みやすいＵＤフォントを使用し、ページ数も適切である。ＱＲコードを読み取り、学習に活用できるが、コンテンツが少ない。
帝国書院	＜主体的・対話的で深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ 〇学習内容を俯瞰できるイラストや身近な事例から実感を持つことのできる資料を用いることで、現実の社会に興味を持たせ、主体的な学びを促している。 △本文の記述が具体的で丁寧であるが、内容に関連したグラフなどの資料が小さく、読み取りにくいので、提示の工夫が必要である。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ 〇ＳＤＧｓの目標と自分の住む地域の視点から振り返らせることで、学習内容を自分事として捉え、自分の言葉でまとめやすいように工夫している。 △各節の最後のまとめの部分において、多面的な学びに向かえるような構成にする工夫が必要である。 ＜その他＞ ・「アクティブ公民」の部分が充実しており、課題を追求するような学習に広がるような工夫がされている。

日本文教出版	＜主体的・対話的で深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ 〇イラストを多く用いて、学習内容に興味・関心を持ちやすくする資料、学習内容を深める資料を提示しており、主体的な学びにつながる工夫がされている。 〇アクティビティーを多く設け、内容に関連した資料を基に、主体的・対話的な学びにつながる活動を行わせ、思考力・判断力・表現力を高めようとしている。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ 〇章の導入で、ポートフォリオを活用して、問いに対する疑問や答えの予想を自分の言葉で表現し、学習の見通しが立てられるような工夫がされている。 〇各章のまとめと振り返りでは、座標軸やウェビングなど様々な思考ツールを活用して考えを深め、自分の言葉でまとめる学習につながる工夫がされている。 ＜その他＞ ・他者と比較して、ページ数は多めである。ＱＲコードを多数掲載しており、主体的な学びを支援している。
自由社	＜主体的・対話的で深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ 〇深い学びにつなげるために、内容に必要な資料を厳選して提示している。理解が必要な重要語句については「ミニ知識」を設けて解説している。 △資料の種類は少なく、サイズやレイアウトについて工夫が必要であり、主体的・対話的で深い学びにつなげるには、資料の種類を再検討する必要がある。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ 〇各章のまとめと発展では、自らの言葉で思考・判断・表現できる課題を設けている。同じ目的で「アクティブに深めよう」が各章に設けられている。 △各章末の学習まとめと発展では、まとめは重要語句の掲載のみで、発展では課題を４００字でまとめるだけになっており、構成に工夫が必要である。 ＜その他＞ ・「もっと知りたい」で、日本が直面している課題を取り上げ興味を抱かせる工夫がされている。ＱＲコードがないので工夫が必要である。
育鵬社	＜主体的・対話的で深い学びにつながる資料の種類や提示の適切さについて＞ 〇現代の社会事象の資料を豊富に提示しており、学習内容と社会とのつながりを実感でき、多面的・多角的に捉えて学ぶことができる。 〇「資料活用」や「ＴＲＹ！」を設け、自ら調べたり、グループで話し合いや発表に取り組ませ、主体的・対話的な学びを促している。 ＜見方・考え方を働かせ課題に対し、自分の言葉でまとめる学習の構成について＞ 〇各章の章末に、社会に見られる課題を自分のこととして捉えて、社会参画への態度を養えるようなコーナーが設定されている。 △見方・考え方を働かせるコーナーはあるが、設定場面が少なく、自分の言葉でまとめる力を育成するための学習の構成に工夫が必要である。 ＜その他＞ ・他者と比較して、資料、索引のページが多い。ＱＲコードの掲載はあるが、少なめである。

令和７年度使用　中学校社会科（地図）　調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	＜色合い・グラフ・国名標記などの適切な表現について＞ ○ＩＣＴを活用した資料の提示に力を入れており、資料の提示方法やその表現が工夫されている。 △世界の各州において、鳥瞰図が３州しか掲示されておらず、その他の州では、大観し、概略をつかむことができる工夫が必要である。 ＜各分野の学習内容とのつながりについて＞ ○表題にＳＤＧｓ及び歴史的分野、公民的分野との関連を示す表示がされているなどの工夫がある。 △歴史的分野、公民的分野と関連した資料は掲載されているが、教科書との関連がわかるような工夫が必要である。 ＜その他＞ ・地図中に課題があり、その解答例がＱＲコードで確認することができるが、解答例が複数のページまたがっていることについては工夫が必要である。
帝国書院	＜色合い・グラフ・国名標記などの適切な表現について＞ ○土地の高低が見やすく色分けしてあったり、地域を拡大してある等、その地域の特色を捉えやすくなるような工夫がされている。 ○立体的に地形を捉えやすくするために、写真を多く取り入れ、興味・関心を引くような工夫がされている。 ＜各分野の学習内容とのつながりについて＞ ○その地域に関わる歴史について、年表が掲載してあり、歴史分野との関連で活用することができる。 ○ＳＤＧｓに関係する資料が豊富に表示されており、公民分野との関連で活用できる資料も地図の中に記入されている等の工夫がされている。 ＜その他＞ ・地図を見て、「読図の方法」や地図から読み取る課題が提示されていて、学びやすい工夫がされている。

令和６年度　第１１採択地区　参考資料

令和７年度使用　中学校数学科　調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	＜導入の工夫について＞ ○ QR コードから取り出せるワークシート・動画がふんだんにあり，そのまま活用することもできる。 ○ 生活でも利用できそうな課題が設定されており，生徒が考えやすいような内容になっている。 ○ 各章の導入時，キャラクターの会話が多く取り入れられていて，生徒の疑問が学びにつながる工夫がされている。 ＜学習活動が充実する工夫について＞ ○　利用の問題では，「問題をつかむ→見通しを立てる→問題を解決する→振り返る→深める」という流れになっており，生徒の学びが深まる工夫がされている。 ○　基本の問題，章末問題 A・B が用意されており，練習問題として十分な問題が用意されている。SDGｓ，他教科とのつながりのある問題が出題されている。 ○ フラッシュカード（QR コード）が設けられているところが多く，類題の復習ができる。また，別の問題も用意されており，家庭学習にも活用できる。 ＜その他＞ ・ MATH CONNECT では，数学とスポーツ栄養士，数学と伝統工芸士など，いろいろな仕事につながっていることが紹介されている。 ・ 必ず解きたい問題が♡マークで表示されていて，苦手な生徒も問題を絞って対応することができる。 ・ 対話シートなど，主体的で対話的な深い学びにつながる工夫がされている。
大日本図書	＜導入の工夫について＞ △　QR コードが少なく，従来通りの教科書と変わらない。QR コード以外にデジタル教科書との併用を意識しているものと思われる。 ○　節の導入課題にもこだわっており，４つのステップを設け，生徒に見通しを持たせる工夫がある。 △　課題内容は，日常生活と結びつきが弱いものもあるため，授業者が展開する中で興味や必要感を持たせる工夫が必要とされるものもある。 ＜学習活動が充実する工夫について＞ ○　言語活動を充実させるため，「問題を見出そう」→「解決のしかたを探ろう」→「解決しよう」→「深めよう」の流れができている。 △　単元内の設問は充実している。しかし，章末問題は標準と応用に分かれているが，問題数が少ない。 ○　デジタル教科書では，多言語翻訳や多くのアプリケーションとの連携ができるなど特徴がある。 ＜その他＞ ・　数学に関係ある職業がインタビューとともに紹介されている。 ・　章末に「活用と探究」というページがあり，他教科との結びつきや発展的な内容を扱っている。
学校図書	＜導入の工夫について＞ △　QR コードが少なく，従来通りの教科書と変わらない。教科書全体では１０種類の目的別 QR コードが用意されている。

	○　キャラクターの対話が多く書かれていて，それをもとにして話し合い活動が設定されている。 △　てんびんのつり合いや宝探しの課題など，生徒の興味を引く課題もあるが，他社に比べ少ない。 ＜学習活動が充実する工夫について＞ ○　学習課題（目標）がしっかりと明記されているとともに，「次の課題へ！」も示されていて，課題と学習過程のつながりがイメージしやすい。 ○　章末問題では，基本・応用・活用の３段階の問題が用意されているが量は少ない。しかし，計算問題では「計算力を高めよう」で大量に用意されている。 ○　活用問題や，「深めよう」の問題では，関連する職業や SDGｓを挙げ，実社会で数学が利用されていることを学ぶことができる。 ＜その他＞ ・　ページ数が素因数分解されている。（１年生） ・　章の最後には，振り返りページが用意されており，「できるようになったこと」と「さらに学んでみたいこと」を言葉で表すことができるようになっている。
教育出版	＜導入の工夫について＞ △　導入部分の QR コードがほとんどなく，従来通りの教科書と変わらない。生徒や教師の使いやすさにこだわり，厳選しているためと思われる。 ○　導入部分の最初のページは，実社会とのつながりのある内容が多いので，生徒の興味をひかせやすい。 ○　「学習に入る前に」のコーナーで既習内容の復習をすることができる。また，巻末の学びのマップと用意されている QR コードを活用し深く復習できる。 ＜学習活動が充実する工夫について＞ ○　利用の問題では，右側に学びのプロセスが書かれていて，見通しを立てながら授業展開ができ，言語活動の充実が図れる。 ○　章末は，用語・たしかめ・入試問題があり充実しているが，問題数が少ない。しかし，巻末に補充問題，実力アップ問題が用意されている。 ○　QR コードは，問題の解法等の説明動画にリンクし，視覚的に考えられる内容になっている。 ＜その他＞ ・　数学の広場では，発展的な内容や他の分野との関係性が書かれている。 ・　各章の前後にまとめのページが用意されていて，繰り返し学習内容を確認する工夫がある。
啓林館	＜導入の工夫について＞ ○　章の初めに QR コードが用意されていて動画を見ることができたり，タブレットを利用して実際に動かしたりして考えることができる。 ○　導入部の「学習のとびら」において，日常生活と結びつきがある課題を多くあつかっており，生徒の意欲をかき立てやすい。 ○　導入のページに必ず言語活動のコーナーを配置しており，主体的・対話的で深い学びを意識している。 ＜学習活動が充実する工夫について＞ ○　各単元の利用では，１つの課題に対して STEP１～３のように段階を踏んで展開していくため流れがわかりやすい。 ○　章末問題の「学びをたしかめよう」で基本問題を，「学びを身につけよう」で発展問題等も，たくさん用意されている。また，入試問題も用意されている。 ○　QR コードにより，「例」や「例題」の解説動画が見られるようになっており，

	復習等，家庭学習にも活かせる工夫がされている。 ＜その他＞ ・　数学ライブラリーで数学に興味をもてる。 ・　「学びをいかそう」で時差やSDGｓなどの身近な課題と数学を結びつけ，発展的に考えることができる。 ・　巻末に各学年のまとめがあり，公式などがまとめてある他，QRコードを読み取ることによって前年度までの既習事項の復習ができる。
数研出版	＜導入の工夫について＞ △　導入部分のQRコードは少なく，従来通りの教科書と大きくイメージは変わらない。デジタル教科書との併用を意識しているものと思われる。 ○　キャラクターの対話が多く書かれていて，それをもとにして数学的に考え説明する力を育てる活動が設定されている。 △　各章の導入について，全体的に身近な話題が少なく，知識伝達的なイメージのものが多い。 ＜学習活動が充実する工夫について＞ ○　全国学力・学習状況調査で出題された内容のところにQRコードがあり，全国学力・学習状況調査のことも考えて指導することができる。 ○　巻末にまとめのページがあり，前年度学習したことと関連してまとめられている。 ○　デジタルコンテンツでは，補充問題が難易度別に充実し，生徒の基礎学力の定着につながっている。 ＜その他＞ ・　学びの自己評価のページがある。（自分で学ぶ力のチェック・学び合いの力をチェック） ・　QRコードではなく，アプリケーションの形でのデジタルコンテンツが充実している。
日本文教出版	＜導入の工夫について＞ ○　導入部分で，シミュレーションや動画が有効的な単元にはQRコードが用意されている。 ○　１年３章の方程式の導入では，パズル的な要素を取りいれていて，生徒の興味を引きやすくなっている。 ○　各章の初めの導入では，キャラクターが会話をしながら，疑問点や課題点を見つけていく流れになっている。 ＜学習活動が充実する工夫について＞ △　「めあて」「考えよう」「話し合おう」などの見出しを多く設定しているが，十分な量が用意されておらず，３学年を通じた統一感がない。 △　章末問題は，標準と発展の二段階に分かれているため，個人のレベルにあわせて取り組ませることができるが，全体的に問題数が少ない。 ○　QRコードは「身につける」「ためす」の２種類が用意されており，場面に応じて使い分けることができる。 ＜その他＞ ・　振り返りシートや対話シート等のワークシートが充実している。 ・　数学マイトライでは，SDGｓと数学を絡めたり，数学を仕事に生かすページが設けられたりしている。

令和６年度　第１１採択地区　参考資料

令和７年度使用　中学校理科　調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	＜問題解決の流れについて＞ ○疑問を解決する過程が経験の浅い教員にも分かりやすく、考察後に振り返りが生徒自身の言葉でまとめられるように工夫されていて、記述を通して思考力・判断力・表現力等の育成がしやすい。 ○既習事項が簡潔にまとめられていて、知識・技能を活用しながら問題解決に取り組むことができ、漫画やフローチャートで探究の進め方が示されているので、生徒が興味・関心をもって取り組みやすい。 ＜観察・実験について＞ ○観察・実験の写真が鮮明で分かりやすく、QRコードから見られる動画も充実しており、生徒がイメージをもち、主体的に観察・実験に取り組みやすい構成になっている。 ○「理科の見方・考え方」を働かせて、見通しをもって観察・実験に取り組む構成であり、指導時期や内容に関連性を踏まえた単元配列であり、生徒の科学的な概念の形成に配慮されている。 ＜その他＞ ・身近な事例や科学の歴史など、生徒が興味・関心が持続するように工夫されている。 ・他教科との関連する事例や高校との系統性を意識した構成になっている。 ・例題や章末、単元末に繰り返し学習できるように工夫されている。
大日本図書	＜問題解決の流れについて＞ ○既習事項とこれから学習することが示されていたり、「やってみよう」という項目が多く発展的な学習に取り組ませようとしたりするなど、学習の継続性に工夫が見られる。 △理科の見方・考え方の表記が分かりづらく、生徒自身で探究的な活動が難しく、指導する教員によって学習の差が大きくなることが心配される構成である。 ＜観察・実験について＞ ○複数の実験装置を示したり、実験のコツが書かれていたりするため、多様な方法で調べることができるため、いわゆる複線型の実験を通して、結果を導くことができる。 △疑問と観察・実験のつながりが唐突な感じがあり、結果から分かることが示されているため、生徒自身が考えたり文章にまとめたりするなど、思考力・判断力・表現力の評価には工夫が必要である。 ＜その他＞ ・QRコードの数が少なく、ネットに頼らない構成になっている。 ・単元末に生徒が自主的にまとめをできるように工夫されている。 ・理科に関するコラムや豆知識など、生徒が興味を持ちやすいものが多い。
学校図書	＜問題解決の流れについて＞ ○図や表が大きく、日常生活と関連した写真が多く載っているので、文章から読み取るのが苦手な生徒でも、感覚的に概要をつかみながら学習を進めることができる。 △仮説やヒントなど、生徒に気付かせたいことまで書かれていることが多く、思考力・判断力・表現力等の育成が不十分となることが懸念される。 ＜観察・実験について＞ ○観察・実験の写真が鮮明で見やすく、操作上の注意点が朱書きされているので、安全に配慮しながら観察・実験を行うことができる。

	△観察・実験の見開きページに結果まで示されているため、生徒が考えながら問題を解決するよりも、結果を確かめたり、安易に失敗したと考えたりしてしまうことが予想される。 <その他> ・コラム「理路整然」では、科学の歴史的な発展についてふれている。 ・ミライ教科書では６ヶ国語に翻訳されていて、様々な活用が考えられる。 ・異なる文字の大きさが多く、小さな文字は読みづらさを感じる。
教育出版	<問題解決の流れについて> △疑問が具体的に示され過ぎて、仮説や計画を立てるときに生徒が気付いた疑問とならず、考察や振り返りの場面で、思考が深まりにくいと思われる。 △各学年で重視する考え方が強調されておらず、結論まで書かれているため、思考力・判断力・表現力等の育成に適さないと思われる。 <観察・実験について> ○観察・実験の結果の整理が具体的で書き込みができるようになっていて、巻末に器具の使い方がまとめられているので、生徒自身で進めやすい。 ○観察・実験の手順がステップに分けられていて図や写真で示されていて、既習事項が随所に示されているので、身に付けた知識・技能を確認しながら進められる。 <その他> ・重要な語句が朱書きされていて、学習しやすい。 ・科学コラム「ハローサイエンス」は日常生活と関連付けられている。 ・用語に絞られた巻末問題があり、知識の定着に役立つ。
啓林館	<問題解決の流れについて> ○各学年で重視する考え方が強調されていて、小学校からの系統性を踏まえた探究的な学習に取り組みやすい構成になっている。 △単元配列が、旧第2分野(地学・生物　現行は「地球・生物」)が先に来ているが、多くの中学校は旧１分野(物理・化学　現行は「エネルギー・粒子」)と交互に年間指導計画を立てており、学年内の既習事項と指導の整合性を図りづらい。 <観察・実験について> ○観察・実験の流れが、「目的、方法、結果、考察」と明記されて分かりやすく、「探 Q シート」も工夫して作られて、実験で使えるアプリもあり使いやすい。 ○観察・実験の手順がステップに分けられ、デジタルコンテンツも充実しており、既習事項を確認し、知識・技能を活用して問題を解決するように工夫されている。 <その他> ・デジタルコンテンツのリンク先が充実しており、生徒がタブレット PC を活用しやすい。 ・日常生活や社会と関連した「お仕事ラボ」「部活ラボ」などで理科の有用性を伝えている。 ・SDG’sを意識するように、マークを付けたり国内の取組を紹介したりしている。

令和７年度使用　中学校音楽科（一般）　調査資料

発行者	調査内容
教育出版	＜思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫について＞ △各教材に、学習目標、目標に迫るための学習活動、取り扱う記号や用語が示されているが、音楽的な見方・考え方を働かせる際の視点の１つである音楽を形づくっている要素が示されていない教材がある。 ○「Active!」では、音楽を形づくっている要素や知覚・感受したことを書き込んで思考・判断する学習ができるように工夫されている。 ＜教材性について＞ △歌唱共通教材における学習目標がすべて「曲の形式を生かして歌おう」で示されており、歌詞や曲の背景等を生かした表現を追究するには物足りない。 ○創作教材では、生徒の興味・関心を引く内容になっており、創意工夫を生かした音楽をつくることができるように工夫されている。 ○鑑賞教材では、深く鑑賞することができるように専門的な内容が多く示されている。 ＜その他＞ ・QR コードから、ワークシートや解説動画等の情報を得ることができるように工夫されている。 ・他教科との関連として、鑑賞教材には年表（我が国の音楽には日本史の時代区分、西洋音楽には西洋音楽史の時代区分）が掲載されている。
教育芸術社	＜思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫について＞ ○各教材に、学習目標、目標に迫るための学習活動、取り扱う音楽を形づくっている要素、考えたいポイントが示されており、音楽的な見方・考え方を働かせ思考・判断する学習ができるように工夫されている。 ○「学びのコンパス」では、知覚・感受したことを他者と協働しながら思考・判断し、学びが深められるよう工夫されている。 ＜教材性について＞ ○歌唱教材では、生徒の発達の段階に応じた難易度が考慮されており、また生徒の心情に迫る歌詞による楽曲が多く取り上げられている。 △創作教材では、創作の手順や具体的な方法が示されているが、生徒が思わず創作したくなるような教材の魅力がほしい。 ○鑑賞教材では、多くの教材で音楽に触れる学習から入り、楽曲の背景等の学習を進める中でより深く味わって聴くことができるような学習過程になっている。 ＜その他＞ ・QR コードから、創作ツールが利用できたり、伴奏に合わせて歌唱ができたりと主体的に学習に取り組める情報が得られるよう工夫されている。 ・巻頭ページに、音楽や芸術の各界で活躍している方からの経験をもとにしたメッセージが掲載されている。人選も対象が中学生であることが考慮されている。

令和７年度使用　中学校音楽科（器楽）　調査資料

発行者	調査内容
教育出版	＜思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫について＞ △各教材のページには学習目標等は示されているが、全体を俯瞰して何を学ぶのを示される工夫があるとよい。 ○「表現の仕方を調べてみよう」では、楽器の音の出る仕組みや旋律の特徴に着目し学びを深める学習ができるよう工夫されている。 ＜教材性について＞ ○多くの種類の和楽器を取り上げ、それぞれの楽器の基本的な奏法について写真入りで記述されている。 ○和楽器の教材には、五線譜と和楽器固有の奏法譜が示されている。 △和楽器の以外には、リコーダーとギターのみ扱いであり、幅広い器楽の学習を計画することが難しい。 ＜その他＞ ・QR コードから、模範演奏を視聴できるなど様々な資料に触れることができる。
教育芸術社	＜思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫について＞ ○目次に続くページに音楽科で身に付ける資質・能力とされに対応する学習内容や教材が示されており、見通しをもった学習ができるように工夫されている。 ○「学びのコンパス」では、思考した内容を実際に演奏して確かめる学習ができるよう工夫されている。 ＜教材性について＞ ○採択地区内で取り扱う箏に関する資料が充実している。また、箏を用いた創作へも発展することも可能な内容になっている。 ○和楽器の教材には、五線譜と和楽器固有の奏法譜が示されている。 ○創作や器楽アンサンブルで用いることが多い打楽器も取り上げ、基本的な奏法が示されている。 ＜その他＞ ・QR コードから、音源や資料を活用して主体的な学習に取り組むことができる。

令和７年度使用　中学校美術科　調査資料

発行者	調査内容
開隆堂 出　版	＜各学習段階に対応した工夫について＞ ○ 現在社会で活躍する作家の発想や活動過程の掲載、芸術祭や社会で活用されている美術作品の掲載など、生徒が美術と社会の関わりに視点をもてるよう工夫している。 ○ 紙面、動画ともにキャラクターや吹き出し型の台詞を活用することで、生徒が親しみやすさを感じられるように工夫されている。 △ 「学びの資料・用具を知って使ってみよう」は2ページに小さく7項目を羅列するように配置しており、生徒がやや理解しにくい構成になっている。 ＜学習を深めるための ICT 活用の工夫について＞ ○ 導入資料から発想・構想のワークシートなど、一定の授業パターンができるように資料が準備されており、授業者は授業の準備がしやすく、生徒は自主学習として学習を進められるよう工夫されている。 △ ＱＲコンテンツの目次（内容）が教科書に表記されてあるため指導計画を立てやすいが、動画扱いをしていても内容は静止画であったり、確認できる技法数や説明されている内容が少なかったりして、授業では活用しにくい。 ＜その他＞ ・ 表紙を実物の作品を模した凹凸にし、触覚を働かせるよう工夫されている。 ・ 生徒作品→紙面 197 点、QR125 点(複数回随時更新) ※内、埼玉県44点 ・ 作家作品→紙面336点、QR2点 ・ 技法 QR→静止画０本、動画59本、
光村図書	＜各学習段階に対応した工夫について＞ ○ 多様な思考のプロセスをたどれるような幅広い内容のアイディアスケッチと作品の掲載、制作について語る作者のインタビュー動画により、生徒が自らのイメージや考えを豊かに広げ主題を生み出す学習過程が大切に扱われている。 ○ 詩や言葉で語りかける題材導入、明暗や配置の工夫などの感動的な画面構成により、生徒が自らの感性を働かせてイメージを広げられるよう工夫されている。 ○ 技法資料を別冊にして技法と表現の学習を明確に分けたことで、３年間を通して身に付けたい技法と、思考・表現を分けて学習できる工夫がされている。 ＜学習を深めるための ICT 活用の工夫について＞ ○ 中学生や作家の作者インタビュー動画で制作の様子や作品への思いが語られており、学習の見通しがもてたり、鑑賞イメージを広げられたりする工夫がされている。 ○ 「体感ミュージアム」「鑑賞のてがかり」「発想ツール」により、自分の感じたことや考えを記号・文字・描画を用いて書き込める工夫がされている。 ＜その他＞ ・ 裏表紙の QR に、情報モラル・防災・マイノリティ・ストレス対処・SDGs、・外国籍の生徒支援を意識した動画等を掲載し、教科横断的な生徒支援が出来るよう工夫されている。 ・ 生徒作品→紙面 120 点、QR1071 点(年4回更新150点追加) ※内、埼玉県 180 点 ・ 作家作品→紙面 436 点、QR88 点 ・ 技法 QR→静止画 44 本、動画 102 本
日本文教 出　版	＜各学習段階に対応した工夫について＞ ○ 鑑賞の視点や学習のヒントを載せ、生徒が制作や鑑賞をするときに迷わないような配慮をしている。

	○ 巻末の「学びを支える資料」や細かく区切られたコンテンツによって、分かりやすく各技法を説明しており、生徒が制作時に各自で技法を確認できるよう工夫されている。 △ 各ページの構成や分冊にする工夫により、テーマや学習の視点が焦点化され、生徒が自らの感性をはたらかせて作品を味わったり、感じ取ったことをもとに自由に考えを広げたり試行錯誤して解決したりする学習がしにくい。 ＜学習を深めるためのICT活用の工夫について＞ ○ 「デッサン人形アプリ」や様々な角度から撮影された作品や制作の手元の動画では、各自が自由に模型を動かしながら人物の動きを体感したり、多様な視点から見ることができたりして、各生徒がイメージをもって学習を進められるよう工夫されている。 ○ 「シンキングツール」は、ダウンロードをしない状態でも活用できるようになっており、各自のPCで気軽に利用できるよう工夫されている。 ＜その他＞ ・各コンテンツが1本2分程度で編集されている。 ・ 生徒作品→紙面188点、QR217点(毎月30点更新) ※内、埼玉県75点 ・ 作家作品→紙面377点、QR251点 ・ 技法QR→静止画0本、動画72本

令和６年度　第１１採択地区　参考資料

令和７年度使用　中学校保健体育科　調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	＜適切かつ効果的な挿絵・図表を含めた資料について＞ ○　学習内容に関連した写真やイラストがバランス良く配置されており、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。 ○　各章の章末資料は写真やグラフ、挿絵等が豊富で、学習内容をさらに深め、発展的に学ぶために有効である。 ＜学習の流れがわかりやすく、学びを深める工夫がされているかについて＞ ○　見開きごとに「見つける・学習課題・課題の解決・広げる」となっており、授業１時間の流れや課題解決までの道筋がわかりやすい。 ○　「活用する」のコーナーは、主体的・対話的な活動を通して、これまでに学んだことを活かしつつ日常生活との関連を考えられるように工夫されている。 ＜その他＞ ・　自ら主体的に学び、学んだことをさらに深められるような思考ツール（デジタルコンテンツ）が、単元に応じて用意されている。
大日本図書	＜適切かつ効果的な挿絵・図表を含めた資料について＞ ○　全てのページにおいて、左側に文章、右側に挿絵や図表が配置されており、統一感があってわかりやすい。 ○　心肺蘇生法の手順については、見開きと折り込みページでまとめられており、写真やイラストも大きくわかりやすい。 ＜学習の流れがわかりやすく、学びを深める工夫がされているかについて＞ ○　本文に続いて記載されている他教科へのリンクを活用すると、教科を横断的に学習することができ、様々な内容を関連づけながら学ぶことができる。 △　主体的・対話的に学びながら、一人一人の学びをさらに深めていけるよう、生徒が互いに係わる活動等の設定について工夫が必要である。 ＜その他＞ ・　デジタルコンテンツの設定が少なく、各単元の学習内容に応じて活用できるツールをさらに多く設定できるよう工夫が必要である。
大修館書店	＜適切かつ効果的な挿絵・図表を含めた資料について＞ ○　学習内容との関連で紹介されているコラム資料は、世の中の話題や生徒の興味・関心に合わせたものが多く、学習意欲の向上に効果的である。 ○　写真や挿絵、図表が大変充実しており、生徒の興味・関心を引き出し、学ぶ意欲を高める工夫がされている。 ＜学習の流れがわかりやすく、学びを深める工夫がされているかについて＞ ○　関連・他教科のマークがあることによって、他の章や他教科との関連がわかりやすく、自分で調べられる工夫がされている。 △　課題は設定されているが、課題に即した調べ学習やさらに深める活動の手順の提示が不足しているため、工夫が必要である。 ＜その他＞ ・　生徒がゲーム感覚で取り組めるクイズ形式や生徒の思考を促すようなツールのデジタルコンテンツが充実している。

Gakken	＜適切かつ効果的な挿絵・図表を含めた資料について＞ ○　章末には必ず「探究しよう」というページが設けられ、日常生活との関連から考え、学びを深めていけるような資料が工夫されている。 ○　リラクセーションの対処法などの実習が流れの中に組み込まれており、その方法等が図を使ってわかりやすく説明されている。 ＜学習の流れがわかりやすく、学びを深める工夫がされているかについて＞ ○　見開きで１時間の流れが「課題の発見・課題の解決・学びの活用」となっており、課題解決までの流れや実生活との関連がわかりやすく工夫されている。 ○　単元ごとに「もっと広げる深める」の資料があり、生徒の興味・関心に合わせて学んだことをさらに深化させる工夫がされている。 ＜その他＞ ・　デジタルコンテンツの数は多いが、ワークシートがPDFのため、学習用端末内で操作できるようになればさらに活用の幅が広がる。

令和７年度使用　中学校技術・家庭科（技術分野）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	＜技術による問題解決に取り組む学習について＞ ○各内容とも「技術の問題解決の工夫」から「問題の発見と課題の設定」を学習した後に「問題解決の評価、改善・修正」を行い、自らの学習過程を振り返られるよう工夫されている。 ○各内容とも「技術の発見と課題の設定」の場面において、生徒にとって具体的な例示が多く、思考の流れが確認できる工夫がされている。 ＜制作・育成について＞ ○各内容とも習得する必要がある技能は、実践例や「TECH Lab」にまとめられ、生徒が問題解決場面において適切な加工方法の選択と技能の習得ができるように工夫されている。 ○各内容とも問題の解決策の構想として、「設計・計画」、「製作（制作・育成）」が構成されており主体的な問題解決に導くための工夫がされている。 ＜その他＞ ・編末資料として、「すごいぞ！技術」を掲載し、様々な「技術の匠」を紹介し、生徒の勤労観・職業観を育むことができるよう工夫されている。 ・ガイダンスの中の「技術の見方、考え方」の項目に「最適化の窓」という欄を設けて、適切に技術を工夫し創造しようとする態度を養うための工夫がされている。
教育図書	＜技術による問題解決に取り組む学習について＞ △各内容とも「題材例」が豊富に示されているが、生徒が問題を発見し、課題を設定し解決しようとする際に必要な情報が不足している。 ○ガイダンスにおいて、「技術の問題解決ってなに？」という項目を設けるとともに、各内容とも問題解決の流れを４つのステップで統一した構成にして、生徒が思考しやすい工夫がされている。 ＜制作・育成について＞ ○教科書と別冊「スキルアシスト」により、基本的な技能を分かりやすく身につけることができるとともに、「学習の扉」では材料と加工方法を比較・検討できるよう工夫されている。 ○巻末に各内容の学習に沿った「設計・計画シート」等が用意されており、統一した形式で生徒自身の構想を具体的に表現できるよう工夫されている。 ＜その他＞ ・各内容とも１章と２章の間に安全面に配慮した項目を設け、実習や見学を安全に進められるよう工夫されている。 ・最終編において「夢をかなえる技術」として、領域を横断した様々な技術を紹介し、生徒自身が将来において学んだ技術を生かせるようまとめられている。

開隆堂	＜技術による問題解決に取り組む学習について＞ 〇各内容とも実習例の中に問題解決の手順を示しており、生徒自身が主体的に「問題の発見や課題の設定」「構想と設計（計画）」「製作（製作、飼育）」「成果の評価と改善」の学習過程をすすめられるよう工夫されている。 〇各内容とも「問題解決の流れ」が見開きで見やすく構成されており、主体的な問題解決に導くための工夫がされている。 ＜制作・育成について＞ △科学的な根拠を基に技術を理解・習得できるよう工夫されているが、材料と加工の技術の内容において加工のしくみと技能が分かれて解説されており、科学的な根拠をまとめにくいと捉えることもできる。 〇各内容の最初の見開きにおいて、「小学校や他教科とのつながり」を示し、これから学習する内容の繋がりを意識できるような工夫がされている。 ＜その他＞ ・各内容とも最後の項目において、「Interview」として技術に携わる方々の仕事等を多面的に捉え、生徒の勤労観・職業観を育むことができるよう工夫されている。 ・巻末に「命を守る防災、医療・介護の技術」について紹介し、技術と社会生活の結びつきを意識させながら３年間学んだこと生かし、解決策を考えさせる工夫がされている。

令和７年度使用　中学校技術・家庭科（家庭分野）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	＜実践的・体験的な活動の工夫について＞ ○ガイダンスにおいて、多岐にわたり内容が充実しているため、生徒自身が課題意識と見通しを持って学習に取り組める工夫がされている。 ○選択できる実習例が豊富な上、大きく詳細に掲載されており、実習や生活で必要となる基礎的な技能も分かりやすい。 ＜思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫について＞ ○各編の冒頭に「小学校家庭科で学んだこと」の項目を設け、小学校との接続を確認できると共に、学びの系統性を意識できるよう工夫されている。 △選択として「生活の課題と実践」が設けられており、振り返りと自分の考えを深めることができるが、各編で取り扱う方がより効果的だと捉えることもできる。 ＜その他＞ ・各編の導入部分に、「家庭分野の見方・考え方」の例が示されると共に、課題設定の欄があり、生徒自身が問題解決に生かすことができるよう工夫されている。 ・全体を通してデザイン構成がすっきりしており色遣いも落ち着いているが、文字数が多い分、中学生にとっては淡白なイメージともとれる。
教育図書	＜実践的・体験的な活動の工夫について＞ ○様々な実習例が写真を中心に分かりやすい配列でレイアウトされており、生活の実態に応じた活用ができるよう工夫されている。 ○各内容の「やってみよう」「調べてみよう」において、生徒が主体的に学びに向かう工夫がされて、様々な実習例に生かすことができるようになっている。 ＜思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫について＞ ○各編の導入部分において「自立度チェック」という項目を設け、学習内容を自分ごととして捉えられるよう工夫し、問題解決的な学習の流れを明確にしている。 △全体的に写真や図が豊富で、生徒の興味・関心を高める効果が見込める反面、生徒が生活の中から課題を見つけるための資料が不足しているとも捉えられる。 ＜その他＞ ・「センパイに聞こう！」という項目において、メッセージやインタビューを紹介することで、生徒が社会との繋がりを意識させる工夫がされている。 ・各内容とも問いかけが多く設けられており、生徒自身が生活の中から課題を発見できるような工夫がされている。
開隆堂	＜実践的・体験的な活動の工夫について＞ ○具体的なデータや科学的根拠に基づいた資料が豊富に掲載され、生徒が実際の生活場面を容易に想定でき、思考を広げられる工夫がされている。 ○ガイダンスにおいて、実際の生活に照らし合わせた内容を取り上げており、家庭分野で身に付けさせたい事を明確にしている。 ＜思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫について＞ ○各章の冒頭部分に「自分の興味・関心を大切に」の項目を設けるなどして、生徒自身が生活の中で課題を発見し主体的に取り組めるよう工夫されている。 ○小題材の中に「考えてみよう・やってみよう・話し合ってみよう・発表しよう」のコーナーを設けることで、学習の流れを明確にする工夫がされている。 ＜その他＞ ・巻末に資料として、「世界に視野を広げて」の項目を設けることで、学習内容を振り返ると共にさらに視野を広げられるよう工夫されている。 ・資料の分量と本文のバランスが良く、構成が中学生にとってわかりやすいつくりになっている。

令和６年度　第１１採択地区　参考資料

令和７年度使用　中学校外国語科（英語）　調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	＜４技能５領域の資質・能力の育成について＞ ○ 学期末にあたる時期に Stage Activity としての活動が設定されており、既習事項の統合が図れるようになっている。 ○ 内容解説資料では、４技能バランスよく配列されているが、やや「書く」の比重が多い。最終的な活動としてバランスを取ろうとする工夫がみられる。 ＜学習内容の系統性について＞ ○ 毎ページごとに設定されている Your turn や Activity では、基本文を復習できるように工夫されている。 ○ Unit を通じて題材や場面の世界観の中で学習が完結するよう工夫されており、その題材に関する巻末資料も充実している。 ＜その他＞ ・ 本文中の文法は既習事項で無理なく理解できるように統制されているように見え、新出の言語材料と既習のものを比較し、学習しやすくする工夫がある。
開隆堂	＜４技能５領域の資質・能力の育成について＞ ○ 様々な場面に応じた言語活動ができるように工夫されており、Review and Retell や Action で効果的に定着を図れるようになっている。 ○ ５つのアイコンで領域をわかりやすく表示してあり、自己表現活動においては、複数の技能・領域を組み合わせて行うものが配置されている。 ＜学習内容の系統性について＞ ○ 目標の確認から、文法導入・リスニング・本文読解・振り返り・自己表現活動とバランスよく進めることができる。 △ １つのページ（scenes）で複数の文法に触れるため、ページが違う本文と関連させながら進めるのが難しい。 ＜その他＞ ・ 色が鮮やかで、目を引く作りになっている。Tuning in が新たに加わり、本文で取り扱う内容をより深く理解できるようになっている。
三省堂	＜４技能５領域の資質・能力の育成について＞ ○ それぞれの教材は、１時間の授業が音声から文字へ、練習活動からコミュニケーション活動へと、自然に移行するように活動が段階的に配列されている。 ○ Small Talk Plus では「話すこと［やりとり］」に特化し、３年間を通して即興の会話を継続する方略を身に付けられるようになっている。 ＜学習内容の系統性について＞ ○ 文法事項を知ってから、スピンオフ漫画で大切な表現を学び、Goal Activity に関連した題材で練習をしてからそれに向かうようになっている。 △ Part の初めは関連するイラストと基本文（１～２文）と一貫しており、本文の間にもイラストや写真が挟まれていることが多いため、取り組みやすい反面、会話文や説明文など、本文としてまとまった英文を読む分量が少ない。 ＜その他＞ ・ QR コンテンツには文法解説動画があり、個別に学習することができる。

教育出版	＜４技能５領域の資質・能力の育成について＞ ○　Tips として、４技能それぞれに特化したページが割り当てられており、それぞれの技能において、その段階で身に付けさせたい能力が明記されている。 ○　本文の内容を活用して行う Think & Try のコーナーがあり、speaking の練習ができるように工夫されている。 ＜学習内容の系統性について＞ ○　章末の Task では本文の場面と関連のある課題が用意されており、本文を自然に繰り返し活用する構造になっている。 △　Check, Key Sentence, Think & Try または Read & Try の流れの中の、Key Sentence のみが場面から切り離されていて、系統性が薄い。 ＜その他＞ ・　本文が自然な会話になるように留意されている分、文法的には未習の表現も頻出している。また１年生においても相当程度に長い英文が用意されている。
光村図書	＜４技能５領域の資質・能力の育成について＞ ○　Part は左ページの本文で「聞く」「読む」活動、右ページの言語活動で「聞く」「話す」「書く」活動と一貫しており、バランスが取れている。 △　You Can Do It!では QR コンテンツとして、全国学力・学習状況調査などを参考にしたスピーキングテストの練習を行うことができるが、掲載されいている回数が少ない。 ＜学習内容の系統性について＞ ○　Part は左ページに本文、右ページに言語活動という構成である。ストーリーと活動で、使用場面や働きが一致した基本文を繰り返し練習できる。 △　本文の量が多く、多量な英文から概要や要点を高速処理する力を養うことは期待できるが、学習者によっては支援や指導の工夫が必要となる。 ＜その他＞ ・　巻末の Unit のイラストを使って、Story Retelling ができる。
啓林館	＜４技能５領域の資質・能力の育成について＞ ○　コミュニケーション活動を大切にしながらも、バランスよく４技能が配分されている。英語の基礎や構造を大切にし、文法の定着も図りやすい。 ○　「聞く」活動がとても充実している。Listen & Think 等で「聞くこと」の思考力や判断力を育成することができる。 ＜学習内容の系統性について＞ ○　上記に挙げたように、１つの文法を習った後に、４技能を順序良く活動ができるように配列されているため、スムーズに授業を展開することができる。 △　より即興的な活動や発展的な活動につながるような会話活動の提案が少ない印象である。 ＜その他＞ ・　色彩は落ち着いており、イラストも含めて穏やかである。様々な生徒がいる中で、どの層にも使いやすい作りとなっている。

令和６年度　第１１採択地区　参考資料

令和７年度使用　中学校道徳科　調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	＜いじめ問題や命の大切さなど人権問題を題材として取り上げる上での工夫＞ 〇各学年にユニット教材としていじめや命の尊さなど人権について複数の題材をまとめて配列し、発達段階に応じて１学期から学習できるようになっている。 △身近ないじめに関する題材は複数あるが、他の人権問題につながる題材が少ないため、補助資料を用意するなどの工夫が必要である。 ＜生徒が自分事として課題意識をもって、深く考え、ねらいに迫れる工夫＞ 〇身近な題材から「考えよう」「見つめよう」「ぐっと深める」の３段階の問いで深く掘り下げ、その後のコラム「plus」で一般化させる工夫がある。 〇写真やイラスト、挿絵や補助資料が多用されており、題材を読み取ること以外にも自分で課題を見つけやすい工夫がある。 ＜その他＞ ・巻末資料の「心情円」で、毎回自分の心の中を視覚的に認識することができる。
教育出版	＜いじめ問題や命の大切さなど人権問題を題材として取り上げる上での工夫＞ 〇教科書の初めに学校生活の人間関係やいじめなどの題材をまとめてあり、年度当初に相互理解から人間関係づくりについて実践的に学ぶ工夫がある。 〇人権問題に関わる内容が多く、学年ごとに発達段階に応じて身近なことから段階的に人権について考えることができるような構成になっている。 ＜生徒が自分事として課題意識をもって、深く考え、ねらいに迫れる工夫＞ 〇タイトルの下に主発問があり、題材の後には「学びの道しるべ」として順番に考えられるよう発問が明示されている。 〇「やってみよう」のページで前に学んだことの深まりを、自分自身の体験や感想に関連させ自分事として考えやすくしている工夫がある。 ＜その他＞ ・新しい題材と昔から使われている題材がバランスよく取り入れられている。
光村図書	＜いじめ問題や命の大切さなど人権問題を題材として取り上げる上での工夫＞ 〇全学年で人権についてのユニットが設定され、「いじめ反対運動」「いじり」等直接的な題材を中心に人権問題についてまとめて学習できる工夫がある。 〇各学年で大きく人権問題に関する題材を扱い、偏りなく様々な人権問題の観点から考えを深めることができる工夫がある。 ＜生徒が自分事として課題意識をもって、深く考え、ねらいに迫れる工夫＞ 〇人権問題のテーマごとに題材が集中配置されており、複数回の授業にわたり、発達段階に応じた問題点などから深く考えさせるような工夫がされている。 △題材によって縦書きと横書きが入り混じっているため、ＵＤの観点や、生徒が集中できるように、指導者の明確な指示や題材の扱いへの工夫が必要である。 ＜その他＞ ・巻末「学びの記録」で、授業毎の振り返りや内容項目毎の振り返りができる。

日本文教出版	＜いじめ問題や命の大切さなど人権問題を題材として取り上げる上での工夫＞ ○全学年でいじめや命の大切さについて複数の教材を幅広くまとめたユニット編成があり、それが学期ごとに配列されており年間を通して学べる工夫がある。 ○各学年で身近なことから世界で起きている人権問題を直接的・間接的に取り上げており、１年時から多様な人権問題について考えさせる工夫がしてある。 ＜生徒が自分事として課題意識をもって、深く考えねらいに迫れる工夫＞ ○発問が題材に関する「考えてみよう」と、自分自身に問いかける「自分にプラスワン」の２問で、「コラム」により自分事として考えやすい構成の工夫がある。 ○挿絵や追加資料が多く、想像しやすく興味をひきやすい構成になっている。状況把握がしやすく、ねらいに対して自分事として考えやすい工夫がある。 ＜その他＞ ・道徳ノートが付属しており、どのような発問にも対応できる構成になっている。
学研	＜いじめ問題や命の大切さなど人権問題を題材として取り上げる上での工夫＞ ○最重要テーマを「いのち」とし、全学年で３題材を、「いのち」の教育からいじめ防止や多様性について配列し、生徒にとって考えやすい配慮がしてある。 △「いのち」を大テーマにしているため、いじめや人権問題を直接的に扱う教材が少なく、考えを深めるには指導上の工夫が必要なことが多くなる心配がある。 ＜生徒が自分事として課題意識をもって、深く考えねらいに迫れる工夫＞ ○内容が現代的問題から漫画を用いたものなど幅広く、生徒が親しみやすく興味関心を引き、自分事として捉えやすくする工夫がある。 △教材後に「深めよう」「クローズアップ」と多面的・多角的に考える特設ページがあるが、内容項目から離れてしまう心配があるので、扱いに工夫が必要であ。 ＜その他＞ ・挿絵や資料が多く現代的問題から漫画を用いた題材まで興味を引く工夫がある。
あかつき図書	＜いじめ問題や命の大切さなど人権問題を題材として取り上げる上での工夫＞ ○いじめ・命の大切さ、人権に関わる題材が各学期に配列されている。１学期にいじめに関する題材が多く配置され、人間関係作りへの配慮がされている。 △いじめに関しては直接的な資料があるが、人権問題については間接的な資料が多く、補助資料として直接的な内容を増やすなど工夫があるとよい。 ＜生徒が自分事として課題意識をもって、深く考えねらいに迫れる工夫＞ ○重点的に考えたい４つのテーマをユニット化してあり、いじめ、情報モラル等、生徒の身近な題材が多く、生徒が自分事としてとらえやすい工夫がある。 ○資料後の発問に、考える観点が明示されている。「自分を見つめ」「考えを深め」「自分との対話」と順を追い深く狙いに迫ろうとする工夫が明確である。 ＜その他＞ ・教科書全体を通してシンプルですっきりとわかりやすい構成となっている。